

事務事業評価表

記入年月日				
平成16年度	事業コード		電話	042-769-8286
担当部課名	生涯学習部	生涯学習	課	企画・芸術文化 班
事務事業名	文化団体育成事業			
予算上の事務事業名	文化団体育成費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 6 章	彩りある市民文化を創造します	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	多彩な市民文化の振興	63以前年度
施策名	第 1 施策	豊かな市民文化の創造	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
相模原市文化協会は、民謡、絵画、華道、俳句、奇術など様々な文化活動を行っている団体で構成されており、当該協会を強化育成することにより、市民文化の裾野を広げ、また、文化をはぐくむ人材育成を図るものである。	相模原市文化協会	
	対象数	単位
	20	団体
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
相模原市文化協会への補助金支出 文化団体指導者研修会 ・市文化協会の活動資金について(平成15年度内訳:単位千円) 市からの補助金(1,100) 加盟団体からの会費(185) 前年度繰越金(242) 委託金(1,088) 雑収入(15) 計(2,630)		
(4)個別計画の概要	概要	
計画名		
計画年次	年度~年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
	対象団体数の推移	今年度対象団体数-前年度対象団体数	文化協会の充実度を計る1つの目安とするもの。	13	14	15	16	17
				19	19	20	20	21
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

事業費	項目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	1,360	1,250	1,100	1,100	1,100
	人員・時間数	98h	39h	39h	39h	39h
	人件費	397	397	397	397	397
	その他経費					
	合計	1,757	1,647	1,497	1,497	1,497
特定財源						
	対象数(団体)	19	19	20	20	21
	単位あたり経費(円)	92,473.7	86,684.2	74,850.0	74,850.0	71,285.7

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	団体が主体的に活動していくべきであるが、平成14年度より、事務局を「生涯学習課」から「市文化協会」に委譲したことにより、自主性をもった活動を推進していく。
(2)必要性 評価 B ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見、市が事業を行う必要がある 自主的な文化活動をととして、広く市民の文化活動・生涯学習啓発が行える。
(3)有効性 評価 B ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	自主的な文化活動をととして、広く市民の文化活動・生涯学習啓発が行える。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 各ジャンルの熟練者を揃えることにより、市民要望に迅速に対応できる。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	加入団体は、市文化協会の趣旨に賛同しているということで会費を支払っている。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
自主運営ができる体制作りを目指して、指導育成することにより、主体的活動のできる団体とする。例えば、市民文化祭を有料化するなどにより、そこから得る収益などによって団体独自の財源の確保を図る。		文化協会に加盟することのメリットは、一部施設の使用料減免措置等があるが、今後会場使用料の減免措置・補助金の見直しが行われると、そのメリットが無くなってしまふ恐れがある。今後、行政として支援の方策を検討する必要がある。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 近隣自治体も補助金を支出している。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 現在、自主運営への移行中であり、推移を見守りながら、将来的にはNPOなどの自主採算のできる団体を目指して、指導育成をする。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

<今後の進め方:見直し>
